"アルビクス" VA ERROR DETECTION UNIT VAD-200HD



Ver. 1. 1



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

注意	第事項 しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう	•	•	•	•	•	2
1.	主な機能と特長	•	•	•	•	•	З
2.	仕様	•	•	•	•	•	4
З.	各部の名称と機能	•	•	•	•	•	5
4.	接続方法	•	•	•	•	•	10
5.	映像比較位置・サイズ調整	•	•	•	•	•	11
6.	IPアドレスの設定	•	•	•	•	•	15

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい (安全にお使いいただくために)



- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。 (火災や感電、故障の原因となります。)
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。 (感電やショート、火災の原因となります。)
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。 (電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。)
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。 (感電やショート、火災の原因となります。)
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。 (火災や感電の原因となります。)

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。 (故障の原因となります。)
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。 湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く 埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動の ある所、安定しない台の上、傾いた所 (故障の原因となります。)

1. 主な機能と特長

1.1 VAD-200HDの特長

- ◇送出側(原信号)とIRD側(対象信号)を比較し、 映像・音声のエラーを検出し、エラー内容を正面 VFD/LED と SNMPエージェントにより外部へ通知します。
- ◇ 送出側ビデオ信号(HD-SDI または SD-SDI。エンベデッドオーディオ を含む)を遅延させ、IRD側の受信ビデオ信号と同期させます。
- ◇送出側ビデオ信号と | RD受信ビデオ信号の遅延量は、映像変化の特長を 検出することで、フレーム単位で計測されます。
- ◇ 送出側ビデオ信号とIRD受信ビデオ信号を同期させることで、 両ビデオ信号の比較を行います。
- ◇ 送出側音声信号と I RD受信音声信号を同期させ、両音声信号の 相関性を計測することで、音声の比較を行います。
- ◇送出側ビデオ信号に重畳された局間情報(ARIB STD-B39 形式)内の 画角/音声モード情報を読み取ることで、映像/音声信号の比較を 常に最適な状態で行います。
- ◇両信号は同期した形で個別にアナログVBS信号で出力され、目視による 画像比較も可能です。
- ◇映像は単画面の他、ウィンドウのある分割画面監視も可能です。

2. 仕様

SDI(送出側)映像・音声入力信号
入力信号数	牧 : 1 系統
信号形式	:映像 :HD-SDI(SMPTE292M、1080i)
	SD-SDI (SMPTE259M-C、480i[D1])
	:音声 :エンベデッドオーディオ
	48KHz 16bit 8ch (HD-SDI)
	48KHz 16bit 4ch/8ch (SD-SDI)
入力接栓	:BNCコネクタ

◆VBS(IRD側)映像·音声入力信号

映像入力信号数	:	1 系統
映像信号形式	:	NTSC、アナログVBS
映像入力接栓	:	BNCコネクタ
音声入力信号数	:	2系統(主音L/R、副音L/R)
音声信号形式	:	アナログ アンバランスステレオ4ch
入力接栓	:	RCAピンジャック

◆映像モニタ出力信号

出力信号数	:送出側ディレイ・IRD 各1系統
信号形式	:NTSC、アナログVBS
出力接栓	:BNCコネクタ

◆映像調整用比較映像モニタ出力信号

出力信号数	:2系統
信号形式	:NTSC、アナログVBS
出力接栓	:BNCコネクタ

◆音声モニタ出力信号

出力信号数 : 2系統×2(送出側ディレイ・IRD、各4ch〔主音L/R、副 音L/R〕)

信号形式: アナログアンバランスステレオ4ch出力接栓: RCAピンジャック

◆外部通知

通信仕様	:100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
プロトコル	: SNMP V2
コネクタ	:RJ-45モジュラ

◆外形寸法	:W430 \times H44 \times D630 mm
◆質 量	:約 7.8 kg
◆電源電圧	:100V±10% AC 50/60Hz
◆消費電力	:約 50 W
◆使用温度	$:5^{\circ}$ \sim 40°C

3. 各部の名称と機能

3.1. フロントパネルの機能



- POWER
 ・電源スイッチです。
- 2. VFD

・状態表示/調整用 VFD ディスプレイです。

- +/-/SEL/MENUボタン
 ・調整用ボタン SW です。
- 4. VIDEO ERROR LED表示(BASE)
 - ·SDI VIDEO
 - SYNC SD | 入力に同期断を検出した時に点灯します。
 - FREEZE SDI入力BASEでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI入力BASEで黒味を検出した時に点灯します。
 - LEVEL SDI入力BASEでレベル異常を検出した時に点灯します。
 - ·VBS VIDEO
 - SYNC VBS入力に同期断を検出した時に点灯します。
 - FREEZE VBS入力BASEでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK VBS入力BASEで黒味を検出した時に点灯します。
 - LEVEL VBS入力BASEでレベル異常を検出した時に点灯します。
- 5. VIDEO ERROR LED表示(WINDOW)
 - ·SDI WINDOW
 - FREEZE SDI入力WINDOWでフリーズを検出した時に点灯します。
 - BLACK SDI入力WINDOWで黒味を検出した時に点灯します。
 - ·VBS WINDOW
 - FREEZE VBS入力WINDOWでフリーズを検出した時に点灯します。 BLACK VBS入力WINDOWで黒味を検出した時に点灯します。

- 6. AUDIO ERROR LED表示
 - ·SDI AUDIO

CH1	SDI AUDIO CH1 で無音を検出した時に点灯します。
CH2	SDI AUDIO CH2 で無音を検出した時に点灯します。
CH3	SDI AUDIO CH3 で無音を検出した時に点灯します。
CH4	SDI AUDIO CH4 で無音を検出した時に点灯します。
CH5	SDI AUDIO CH5 で無音を検出した時に点灯します。
CH6	SDI AUDIO CH6 で無音を検出した時に点灯します。
CH7	SDI AUDIO CH7 で無音を検出した時に点灯します。
CH8	SDI AUDIO CH8 で無音を検出した時に点灯します。

·VBS AUDIO

CH1	VBS AUDIO CH1 で無音を検出した時に点灯します。
CH2	VBS AUDIO CH2 で無音を検出した時に点灯します。
CH3	VBS AUDIO CH3 で無音を検出した時に点灯します。
CH4	VBS AUDIO CH4 で無音を検出した時に点灯します。

7. メンテナンスコネクタ

・通常は使用しません。カバーを外さないで下さい。

- 8. ADJUST MONITOR
 - ・映像調整用比較映像モニタ出力です。
 - ・SDI、VBS映像が下図のように合成されて出力されます。
 - ・出力はVBSアナログビデオ信号です。



- ・ 画面右下には、音声比較の状態を表すバーが比較 CH 毎に表示されます。
 (左から、音声 CH1, CH2, CH3, CH4)
- ・バーの長さは、相関値が低い(音声の違いが小さい)程短く、 相関値が高い(音声の違いが大きい)程長く表示されます。
- ・バーの色は、音声比較しきい値以下の場合は緑色で、しきい値を 上回る場合は赤色で表示されます。
- ・バーには相関値10毎(相関値=10,20,30...)に刻み目が設けられており、 画面上でおおよその相関値を目視で読み取る事が可能です。

3.2. リアパネルの機能



- ETHER
 ・LANインターフェースコネクタです。
- SDI INPUT
 SDI映像・音声信号入力コネクタです。
- 3. VBS INPUT ・VBS映像・アナログ音声信号入力コネクタです。
- 4. SDI MONITOR
 - ・SD | 映像・音声モニタ出力コネクタです。
 - ・出力はVBSアナログビデオ信号・アナログアンバランスオーディオです。
- 5. ADJ. MONITOR
 - ・映像調整用比較映像モニタ出力です。 ・フロントパネルのADJUST MONITORと同じ信号が出力されます。
- 6. VBS MONITOR
 - ・VBS映像・音声モニタ出力コネクタです。
 - ・出力はVBSアナログビデオ信号・アナログアンバランスオーディオです。
- 7. AC INPUT
 - ・AC入力(3Pインレット)です。

3.3. VFD の機能

1. 通常状態



1. SDI INPUT

・送出側 SDI 信号の状態を表示します。

SDI 信号状態	VFD 表示
HD-SDI 信号を入力	HD
SD-SDI 信号を入力	SD
入力信号なし	NG(点滅表示)

2. VBS ASPECT

・IRD 側 VBS 信号の画角設定を表示します。

画角設定	VFD 表示
サイドカット	SIDECUT
スクイーズ	SQUEEZE
レターボックス(16:9)	LB16:9
レターボックス(14:9)	LB14:9

3. DELAY

・映像ディレイ値をフレーム数単位で表示します。 (ディレイ値測定中は数字が点滅して表示されます)

4. VIDEO

- ・映像比較の不一致ブロック数を表示します。
- 5. CH1
 - ・音声比較CH1の相関値を表示します。 (調相処理中は数字が点滅して表示されます)
- 6. CH2
 - ・音声比較CH2の相関値を表示します。
 (調相処理中は数字が点滅して表示されます)
- 7. CH3
 - ・音声比較CH3の相関値を表示します。
 - (調相処理中は数字が点滅して表示されます)
- 8. CH4
 - ・音声比較CH4の相関値を表示します。 (調相処理中は数字が点滅して表示されます)

2. 本体バージョン/ | Pアドレス



電源投入時に、本体バージョンとIPアドレスを約10秒間表示します。 (表示終了後に通常状態に移行します)

上段のx. x x の部分には本体バージョンを表示します。 (本体バージョンが1.01の場合、x. x x の部分は「1.01」と表示します) 下段のa a a. b b b. c c c c. d d d の部分には、VAD本体のIPアドレスを表示します。 (IPアドレスが192.168.100.101の場合、a a a. b b b. c c c. d d d の部分は「192.168.100.101」と表示します)

本体の起動後は、通常状態時に+/-/SELボタンのいずれかを押す事で 本体バージョン/IPアドレスを約5秒間表示します(表示終了後に通常状態に戻ります)。

3. 調整メニュー



通常状態時にMENUボタンを押す事で、調整メニューが表示されます。 (調整メニュー/調整方法の詳細は「5.映像比較位置/サイズ/画角調整」を参照)

調整メニュー表示中に何もボタンを押さずに約1分間放置した場合は 自動的に通常状態に戻ります(調整メニュー内での操作内容は全て破棄されます)。

4. 接続方法



※映像比較を行うためには、SDI INPUT と VBS INPUT は同一の映像である必要があります。 また、SDI INPUT と VBS INPUT の間の遅延時間は、1~160フレームであることが 必要です。

比較遅延量計測機能

映像:1~160フレーム(約5.3秒) 音声:0~150フレーム(約5.1秒)

5. 映像比較位置/サイズ/画角調整

SDI(送出側)映像と、VBS(IRD出力)映像は、 ADJUST MONITOR上での表示位置/画面サイズ/画角設定が 異なっていると、正しく映像比較を行うことができません。 したがって、表示位置/画面サイズ/画角設定を調整する必要があります。

1. 比較画像の確認

ADJUST MONITOR出力にモニタを接続し、映像調整用比較映像を 確認します。

- 2. 調整メニューの表示 VFD表示が通常状態の時にMENUボタンを押し、調整メニューを表示します。
- ・ 水平方向サイズ調整画面(以下、「画面①」と表記)

Η	—	S	i	Ζ	е						
										1	6

・垂直方向サイズ調整画面(以下、「画面②」と表記)

V	—	S	i	Ζ	е		
						1	6

・水平方向位置調整画面(以下、「画面③」と表記)														
Η	—	Ρ	0	S	i	t	i	0	n			•		
													1	6

•	水	平方向	リサイン	ズ調整	面面	(以下、	「画貢	5 4)	と表記)			
\backslash	/	—	Ρ	0	S	i	t	i	0	n			
												1	6
L													

・画	 ・画角設定画面(以下、「画面⑤」と表記) 													
\vee	В	S	А	S	р	е	С	t				•		
								S	i	d	е	С	u	t

・音	・音声比較バー設定画面(以下、「画面⑥」と表記)														
Α	u	d	i	0		Е	r	r	0	r		В	a.	r	
														0	Ν

• 設	定保存	確認回	画面(以下、	「確認	画面」	と表記	(5							
S	а	V	е		С	0	n	f	i	g		?	•		
Y	:	Μ	Е	Ν	U		/		Ν	:	0	t	h	е	r

調整メニュー画面の内容は、下記の規則に従って変化します。

- (1)通常状態の時にMENUボタンを押すと、画面①が最初に表示される。
- (2) 画面①の状態からSELボタンを押すたびに画面①→画面②→画面③…と 表示画面が順に変化し、画面⑥の状態で更にSELボタンを押すと画面①に戻る。
- (3) 画面①~画面⑥のいずれかの状態でMENUボタンを押すと確認画面に移行する。
- (4) 画面①~画面⑥または確認画面のいずれかの状態で何もボタンを押さずに 約1分間放置すると、それまでの操作内容を全て破棄して自動的に通常状態に戻る。

3. 水平サイズの調整

 ・画面①の状態で、VFDの下段右端に表示された水平サイズ値を モニタを確認しながら+ボタンとーボタンで調整します。
 (+ボタン:値が増加/ーボタン:値が減少)
 設定範囲は 0~31 で、初期値は 16(中間値)です。
 値が大きくなるほど、SDI 映像の水平サイズが拡大されます。

4. 垂直サイズの調整

 ・画面②の状態で、VFDの下段右端に表示された垂直サイズ値を モニタを確認しながら+ボタンとーボタンで調整します。
 (+ボタン:値が増加/ーボタン:値が減少) 設定範囲は0~31 で、初期値は16(中間値)です。
 値が大きくなるほど、SDI映像の垂直サイズが拡大されます。

5. 水平位置の調整

・画面③の状態で、VFDの下段右端に表示された水平位置を モニタを確認しながら+ボタンとーボタンで調整します。 (+ボタン:値が増加/ーボタン:値が減少) 設定範囲は 0~31 で、初期値は 16(中間値)です。 値が大きくなるほど、SDI映像が右方向に移動します。

6. 垂直位置の調整

・画面④の状態で、VFDの下段右端に表示された垂直位置を モニタを確認しながら+ボタンと-ボタンで調整します。 (+ボタン:値が増加/-ボタン:値が減少) 設定範囲は O~31 で、初期値は 16(中間値)です。 値が大きくなるほど、SDI 映像が上方向に移動します。

7. 画角の設定

・画面⑤の状態で、VFDの下段に表示された画角設定を モニタを確認しながら+ボタンとーボタンで変更します。 初期値は SideCut です。

VFD表示	画角設定
SideCut	サイドカット
Squeeze	スクイーズ
LetterBox(16:9)	レターボックス(16:9)
LetterBox(14:9)	レターボックス(14:9)

+ボタン:「SideCut→Squeeze→LetterBox(16:9) →LetterBox(14:9)→SideCut…」の順番に画角設定が変化

-ボタン:+ボタンの逆順で画角設定が変化

8. 音声比較バーの設定

・画面⑥の状態で、VFDの下段右端に表示された 音声比較バー設定(ON/OFF)を、モニタを確認しながら +ボタンとーボタンで変更します。初期値はONです。 音声比較バー表示をOFFに設定しても、音声比較処理はOFFになりません。

VFD表示	設定
ON	ADJUST MONITOR出力画面の右下に 音声比較バーを表示する
OFF	ADJUST MONITOR出力画面の右下に 音声比較バーを表示しない

+ボタン/-ボタン: ON/OFFを切替

9. 設定値の保存

 ・確認画面の状態でMENUボタンを押すと、調整メニューで設定した値が 保存されます(電源を切断しても設定内容は保持されます)。 保存終了後は通常状態に戻ります。
 確認画面の状態でMENUボタン以外(+/-/SELボタンのいずれか)を 押した場合は、調整メニューで設定した値を保存せずに通常状態に戻ります。
 (設定値は、調整メニューを表示する前の状態に戻ります)

10. 監視PCへのフィードバック

 ・本体に保存された設定値は、監視PCから下記のMIB項目に対して SNMP-GET通信を行う事で取得可能です。
 また、下記のMIB項目に対してSNMP-SET通信を行う事で、
 VFDメニューを使わずに監視PCから直接設定する事が可能です。

MIB項目
unitSetting(4) sizeAdjust(4) hSize(1)
unitSetting(4) sizeAdjust(4) vSize(2)
unitSetting(4) sizeAdjust(4) hPosition(3)
unitSetting(4) sizeAdjust(4) vPosition(4)
unitSetting(4) sizeAdjust(4) irdDownConvert(5)

※音声比較バー設定は、監視PCで取得/設定出来ません。

6. | Pアドレスの設定

- 6.1. VAD-200HDのIPアドレスの設定
 VAD-200HDのIPアドレスは、専用ツール"TASetupX"で変更します。
- 1) VAD-200HDのETHERコネクタと Windows PC を LAN 経由で接続し、 VAD-200HDの電源を投入します。(クロスケーブル直結または HUB 経由)
 ※PC の OS が WindowsXP(SP2) / WindowsVista の場合は、 ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。
- 2) Windows PC上で"TASetupX.exe"を起動します。

🚾 ネットワーク未選択 -	TA IJモートセ	2ットアップ X		
ファイル(<u>F)</u> ネットワーク(<u>N</u>)	TA管理(<u>T</u>)	表示(⊻) ^ルブ(<u>H</u>)		
_N 機種	シリアル No.	MAC7ドレス	IP7ドレス	備考
עד°ז				NUM

3) 初回のみネットワーク名称の登録を行う必要があります。

[ネットワーク]->[新規登録]をクリックします。

ネットワークの新規登録		×
		_
ネットワーク名	VAD-200HD	
サフジネットマスク	255.255.255.0	
<u> </u>	2.2.2.2	
	OK キャンセル	

ネットワーク名に任意の半角英数字(例:VAD-200HD)を入力し、 [OK]をクリックします。 4) [TA 管理]->[その他の検索]->[リフレッシュ検索]をクリックし、接続されている VAD-200HDを検索します。PCとVAD-200HDの接続が完了していると、 次のように該当するVAD-200HDのIPアドレスが表示されます。

🚾 VAD-300 – TA リモートセットア	ップ X		
ファイル(<u>E</u>) ネットワーク(<u>N</u>) TA管理(<u>T</u>)	表示(⊻) ^ルブ(<u>H</u>)		
N 機種 シリアルNo.	MAC7ドレス	IP7ドレス	備考
1 TA-100KR-Xシリース	00A0C20BFB7C	10.9.10.151	
ν τ γ			NUM /

5) 表示された IP アドレスの行をダブルクリックすると、設定の取得画面が 表示されますので、[OK]をクリックします。

設定の取得	
選択されたノートから設定	を取得します
ОК	==++>tu

6)設定取得画面が表示されます。

TA-100KR-Xシリー	ズの設定取得			\mathbf{X}
_LAN設定				
自IPアドレス	10.9.10.151		通信トリガフ ラ グ	無効 💌
自ポート番号	257		無通信監視外?	0
宛先IPアドレス	2.2.2.2		ユーザ、名	
	514		∧°スワート°	
サブネットマスク	255.255.255.0		ファイルターミネータ	
ゲートウェイアト・レス	2.2.2.2		オートネゴシェーション	自動
╪ープアライブタイマ	0		MTU値	1500
コネクトタイマ	2			
->リアル設定		ーレス	テム設定	
ホペーレート	9,600bps 💌	LA	Nデフォルトプロトコル	FtpSv
データ長	8t°yh 💌	RS	:デフォルトプロトコル	Serial
ストッフピ゛ット	1t*yh 💌	BC	DOTP有効フ ラ グ	無効 💌
ለሣታィ	なし・	DH	HCP有効フ ラ グ	無効 💌
70-制御	なし・	起	動プログラム名	設定画面
コネクション情報通	無効 💌	~_ 汎	用設定項目	
コネクション監視	無効 💌	SN	JMP設定	
アイトッルタイマ	0	動	作モート	 通常動作0
レコート・ターミネータ	0D0A	(II)	(得のみ)	
	[] ネッ	ኑワークタ	送信	戻る

- 7) [自IP アドレス]欄(上記画面の赤枠部分)のIP アドレスを変更し、
 - 「送信」ボタンをクリックします。
 - この時、[自IPアドレス]以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。
 - (VAD-200HDが正常に動作しなくなります)
- 8) | Pアドレス設定の変更を行った場合は前出の[リフレッシュ検索]を行い、変更後の | Pアドレスを確認して下さい。

6. 2. Trap先IPアドレスの設定

LAN設定 自IP7ドレス 10.9.10.151 通信トリカ'フラグ' 無効 マ 自ホ"-ト番号 257 無通信監視タイマ 0 宛先山アハドレス 2.2.2.2 ユーザ'名 宛先ホ"-ト番号 514 ハ'スワート' サブ'ネットマスク 255.255.255.0 ファイルターミネータ ゲートウェイアト'レス 2.2.2.2 オートネゴ'シエーション キーフ'アライク'タイマ 0 MT U値 コネクトタイマ 2 1500 マリアル設定 システム設定 エーレート ボーレート 9.600bps マ LANデ'フォルトフ'ロトコル データ長 8比'ット<マ RSデ'フォルトフ'ロトコル ハ'リティ 「といアーマ PGOTP有効フラグ' ハ'リティ なし フロー制御 なし マ 設定画面 コネクション情報通 無効 マ 汎用設定項目 設定画面 コネクション監視 無効 マ SNMP設定 設定画面 アイドルタイマ 0 100 100	TA-100KR-Xシリーズの設定取得				
自IP7ドレス 10.9.10.151 通信ドリカ'フラク' 無効 ▼ 自ホ'ート番号 257 無通信監視9/マ 0 宛先IP7ドレス 2.2.2.2 2ーザ'名 宛先ホ'ート番号 514 ヘ'スワート' サブネットマスク 255.255.255.0 ファイルターミネータ ゲ'-トウェイアト'レス 2.2.2.2 オートネゴ'シェーション オーフ'フライフ'ドレス 2.2.2.2 オートネゴ'シェーション キーフ'フライフ'ドレス 2.2.2.2 オートネゴ'シェーション キーフ'フライフ'ドレス 2.2.2.2 オートネゴ'シェーション オーフ'フライフ'ドレス 2.2.2.2 オートネゴ'シェーション キーフ'フライフ'ドレス 2.2.2.2 オートネゴ'シェーション オウ/タイマ 0 MTU値 コネクトタイマ 0 MTU値 ウリアル設定 マ レーレート デ'ーク長 8ビット Ex パリアイ なし マ ハ'リアイ なし NOTP 有効フラク' パリア なし ション'「新敏通 ホクション'情報通 無効 ▼ 汎用設定項目 コネクション'情報通 一 ション オクション監視 一 動作モート' アイドルタイマ 0 国の コネクション ● 国の コトクション </th <th>_LAN設定———</th> <th></th> <th></th> <th></th>	_LAN設定———				
自ホ"-ト番号 257 無通信監視外(?) 0 宛先れ"-ト番号 514 ハ"スワート" ヴたれ"-ト番号 514 ハ"スワート" サブ"ネットマスク 255.255.0 ファイルタージネータ ゲートウェイアト"レス 22.2.2 オートネゴシェーション 自動 ▼ キーフアライブやイマ 0 MT U値 1500 コネクトタイマ 2 メートネゴシェーション 自動 ▼ キーフアライブやイマ 0 MT U値 1500 コネクトタイマ 2 メートネゴシェーション ●動 ▼ ジリアル設定 システム設定 メートネゴシェーション ● ボーレート 9,600bps マ LANテ "フォルトブロトコル FtpSv デ'ーク長 8ビ"ット RSテ 'フォルトブロトコル FtpSv ストッフ"レート 9,600bps マ EMD(TP 有効フラグ) 無効 マ ハ"リティ なし マ DHCP 有効フラグ) 無効 マ ハ"リティ なし シ 設定画面 汎用設定項目 設定画面 コネクション性報通 無効 マ ハ SNMP設定 設定画面 動作の(PD a) 通常動作o	自IPフドレス	10.9.10.151	通信トリガフ ラ グ	無効 ▼	
宛先 i P7h [*] i Vス 2.2.2.2 ユーザ [*] 名 「 宛先 i *-h番号 514 n^{1} ス p^{-1} * 「 サブ [*] i × j Vスク 255.255.255.0 $7p^{1}h^{j}p^{-1}x^{-j}p^{-1}$ 「 f^{*} - i 2.2.2.2 $f^{-1}+i^{1}x^{1}y_{1}-y_{1}y^{1}$ 「 f^{*} - $i^{1}y_{1}f^{*}v_{1}$ 2.2.2.2 $f^{-1}+i^{1}x^{1}y_{1}-y_{1}y^{1}$ 「 f^{*} - $i^{1}y_{1}f^{*}v_{1}$ 0 MT U値 1500 $i^{1}x^{1}y_{1}f^{*}v_{1}$ 0 MT U値 1500 $i^{1}x^{1}y_{1}f^{*}v_{1}$ 9,600bps V V $i^{1}x^{1}y_{1}f^{*}v_{1}$ 9,600bps V LAN $\bar{f}^{*}7i^{1}h^{1}j^{1}h^{1}h^{1}h^{1}h^{1}h^{1}h^{1}h^{1}h$	自ポート番号	257	無通信監視9/7	0	
宛先ホ°ト番号 514 パスりード サブネ ット マ スク 255.255.255.0 ファ イ ル ターミネ ータ ゲ`ートウェイアト'レス 2.2.2.2 オートネゴ`シェーション 自動 マ キーフ^アライフ'タイマ 0 MT U値 1500 コネクト タイマ 2 システム設定 マ シリアル 設定 タ システム設定 レスデ`フォルトフ`ロトコル FtrSv ボ`ーレート 9,600bps マ LANデフォルトフ`ロトコル FtrSv デ`ータ長 8t`ット RS デフォルトフ`ロトコル Serial ストッフ`た`ット 1t`ット DHCP有効フラウ' 無効 ハ*リティ なし シ 設定画面 コネクション 情報通 無効 二 汎用設定項目 設定画面 コネクション 監視 「一 の 1(用得の a)) 「個常動作の	宛先IPアドレス	2.2.2.2	ユーザ 名		
サブネットマスク 255.255.255.0 ファイルターミネータ ゲートウェイアト'レス 2.2.2.2 $A - h \wedge 1^{j} \vee 1 - \gamma_{3} \vee J$ 自動 キーフ'アライブ'やイマ 0 MT U値 1500 コネクトタイマ 2 > > シリアル設定 - > > ホ'ーレート 9,600bps マ LANテ'フォルトプロトコル FtrpSv デ'ータ長 8t"ット マ RSテ'フォルトプロトコル FtrpSv ストッフ'た'ット 1t'ット マ BOOT P有効フラグ' 無効 マ ハ''リティ なし マ DHO P有効フラグ' 無効 マ コネクション< 「無効 マ 二 現用設定項目 設定画面 コネクション 「無効 マ ○ マイト''ルタイマ 0 mffth' コネクション 「無効 マ 二 コネクション 「無効 マ 「 コネクション 「小 「の コトウション 「一の 「 コトウション 「一の 「 コトウション 「一の 「 <		514	パ スワード		
ゲートウェイアト・レス 2.2.2.2 $I \to h + \lambda \exists y \exists u \to y \exists y d = y d \\ I = 0 \end{pmatrix}$ Image: State of the state of	サブネットマスク	255.255.255.0	ファイルターミネータ		
キーフ [*] アライフ [*] タイマ 0 MT U値 1500 コネクトタイマ 2 システム設定 シリアル設定 タ,6000bps ▼ LANF*フォルトフロトコル FtpSv ボ'ーレート 9,6000bps ▼ LANF*フォルトフロトコル FtpSv デ'ータ長 8t*ット RSデ*フォルトフロトコル Serial ストッフた*ット 1t*ット BOOTP有効フラグ* 無効 ハ*リティ なし DHCP有効フラグ* 無効 フロー制御 なし シ 設定画面 コネクション情報通 無効 汎用設定項目 設定画面 コネクション監視 一 の 動作モート* 通常動作0	ゲートウェイアト・レス	2.2.2.2	 オートネゴシエーション	自動	
コネクトタイマ 2 シリアル設定 システム設定 ホ'ーレート 9,600bps ▼ デ'ータ長 8t 'ット ▼ ストップた 'ット 1t 'ット ▼ ハ'リティ なし ▼ ハ'リティ なし ▼ フロー制御 なし ▼ コネクション情報通 無効 ▼ ストッフた 'wh エ効 ▼ カリティ なし ▼ カリティ なし ▼ コネクション情報通 無効 ▼ アイト 'ルタイマ 0 アイト 'ルタイマ 0	╪ープアライブタイマ	0	MT∪値	1500	
シリアル設定 システム設定 ホ'ーレート 9,600bps ▼ デ'ータ長 8ビット ▼ ストップた'ット 1'tビット ▼ ハ'リティ なし ▼ フロー制御 なし ▼ コネクション情報通 無効 ▼ ストップ上端視 一 アイト*ルタイマ 0 の の カ(リティ 0 ロー 一 カション監視 一 アイト*ルタイマ 0 ロー 動作モート* 動作モート* 通常動作0	コネクトタイマ	2			
 ホ[*] - レ-ト 9,600bps ▼ LANテ[*]7ォルト7[*]1トユル FtpSv RS[*]7ォルト7[*]1トユル Serial BOOT P有効7ラグ[*] ボカ パリティ なし フロー制御 なし ストック*1[*]1[*]1[*]1[*]1[*]1[*]1[*]1[*]1[*]1[*]	シリアル設定		システム設定		
デ [*] ータ長 8t [*] ット RS [*] 7 ₄ ルト7 ¹ h ¹ J Serial ストップt [*] ット 1t [*] ット BOOT P有効フラグ 無効 ハ ¹ リティ なし DHCP有効フラグ 無効 フロー制御 なし こ 設定画面 コネクション情報通 無効 汎用設定項目 設定画面 コネクション監視 無効 SNMP設定 設定画面 ブイト [*] ルタイマ 0 動作モート [*] 通常動作0	ホッート	9,600bps 💌	LANデフォルトプロトコル	FtpSv	
ストップビット 1ビット BOOTP有効フラグ 無効 ▼ ハリティ なし DHCP有効フラグ 無効 ▼ フロー制御 なし こ 記動フログラム名 設定画面 コネクション情報通 無効 ▼ 汎用設定項目 設定画面 コネクション監視 無効 ▼ SNMP設定 設定画面 アイドルタイマ 0 動作モード 通常動作0	データ長	8t°yh 💌	RSデフォルトプロトコル	Serial	
ハリティ なし ● フロー制御 なし ● コネクション情報通 無効 □ コネクション監視 無効 ○ アイト・ルタイマ ○ 動作モート* 1000000000000000000000000000000000000	ストップと゛ット	1t*>>>	BOOTP有効フラグ	無効 💌	
フロー制御 なし コネクション情報通 無効 コネクション情報通 無効 コネクション監視 無効 アイト・ルタイマ 0 動作モート* 通常動作0	ለሣታィ	なし・	DHCP有効フ ラ グ	無効 💌	
コネクション情報通 無効 ▼ 汎用設定項目 設定画面 コネクション監視 無効 ▼ SNMP設定 設定画面 アイト・ルタイマ ○ 動作モート* 通常動作0	フロー制御	なし 💌	記動プログラム名	設定画面	
コネクション監視 無効 SNMP設定 アイト・ルタイマ 0 動作モート* 通常動作0	コネクション情報通	無効 💌	汎用設定項目	設定画面	
7イドルタイマ 0 動作モード 通常動作0	コネクション監視	無効 ▼	SNMP設定		
	アイト・ルタイマ	0	動作モート、		
	レコート・ターミネータ	ODOA	(取得のみ)	,	
□ ネットワーク外 送信 戻る		🗔 ትットワ	-^^外 送信	戻る	

1)前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

2)設定取得画面で「SNMP設定」[設定画面]ボタン(赤枠部分)をクリックします。

3)「SNMP 設定」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。

s	NMP設定のダイアログ		X
	SNMP有効/無効	有效 ▼ ミュニティ違反TRAP有効/無 有効 ▼	
	TRAP先IP	10.9.10.77	
	識別番号	19892	
	GET用コミュニティ名	public	
	SET用IJュニティ名	public	
	TRAP用コミュニティ名	public	
	CONTACT		
	LOCATION		
	NAME		
		OK ==+>>tell	

- 4) [TRAP先 | Pアドレス](上記画面の赤枠部分)を変更し、[OK]をクリックします。
 この時、[TRAP先 | Pアドレス]以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。
 (VAD-200HDが正常に動作しなくなります)
- 5) 設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

6.3. 複数個のTrap先IPアドレスの設定

※複数個のTrap先IPアドレスを設定する場合は、必ず前項で 最初の1個目のTrap先を設定して下さい。 前項での設定を行わずに本項目のみ設定を行った場合は正常に動作しません。

1)前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

TA-100KR-Xシリ-	ズの設定取得			X
LAN設定				
自IPアドレス	10.9.10.151		通信トリガフ ラ グ	無効 💌
自ポート番号	257		無通信監視タイマ	0
宛先IPアドレス	2.2.2.2		ユーザ・名	
	514		パ スワ~ド	
サブネットマスク	255.255.255.0		ファイルターミネータ	
ゲートウェイアト・レス	2.2.2.2		オートネゴシェーション	自動
キーファライフッタイマ	0		MTU値	1500
コネクトタイマ	2			
シリアル設定		「 ^{シス}	テム設定	
ホッート	9,600bps 💌	LA	NF*フォルトプロトコル	FtpSv
データ長	8t°yh 💌	RS	ริรัวォルトวในก่าน	Serial
ストッフと゛ット	1t°yh ▼	В	DOTP有効フ ラ グ	無効 💌
ለሣታィ	なし	DH	HCP有効フ ラ グ	無効 💌
70-制御	なし	記	動プログラム名	設定画面
コネクション情報通	無効 ▼	·— 汎	用設定項目	
コネクション監視	無効 ▼	SN	MP設定	設定画面
アイト・ルタイマ	0	動	······ 作モート	 通常動作0
レコート・ターミネータ	ODOA	(1)	(得のみ)]
	□ ネッ	トワークタ	┡ 送信	戻る

2) 設定取得画面で「汎用設定項目」[設定画面]ボタン(赤枠部分)をクリックします。

3)「汎用設定項目」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。

ij	汎用設定項目のダイアログ				
	汎用設定項目1	10.9.15.121			
	汎用設定項目2				
	汎用設定項目3				
	汎用設定項目4				
	汎用設定項目5				
	汎用設定項目6				
	汎用設定項目7				
	汎用設定項目8				
J					
	OK キャンセル				

- 4) [汎用設定項目1~8](上記画面の赤枠部分)を変更し、[OK]をクリックします。
 Trap先IPアドレスは最大で8箇所まで設定が可能です。
 本項目の設定を行う事によって、前項で設定した最初の1個目のTrap先と合わせて計9箇所までTrapを送信可能です。
- 5) 設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

- 6. 4. IPアドレス/Trap先変更後のVAD再起動
- 1) VAD本体の電源を一旦切断して再度投入します。 起動時の本体バージョン/IPアドレス画面で、6.1.項で設定した IPアドレスがVFD下段に表示される事を確認します。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製 品についてのアフターサービスは、 お買い上げの販売店におたずねく ださい。

なお、販売店が不明の場合は弊社 へお手数でもご連絡ください。 故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店:

TEL 担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1974-1 TEL:0256-93-5035 FAX:0256-93-5038